| 都道府県 | 取組名称 (応募企業·団体名) | 取組概要 | |
|------|--|---|----------------|
| 山形県 | 地域の石造物文化の継承と創造活動 (墓地景観創造研究会) | 山形県内の石工業者15社が集まり、地域の寺社の石垣や石段の修繕等を研修として活用しながら石工技能の継承及び向上を図る取組。 新規の石造物が少な〈なる中、資金難等の問題から修繕が滞っている寺社を研修に活用することで、技能継承や若年技能者の技能向上を図っていることが評価された。 また、地元の石材を活用し、景観に配慮した墓石の提案を行うほか、自然への感謝を表すため、県内では馴染み深い「草木塔」を小・中学校に建立し、寄贈するなど、石材施工を通して地域に貢献する幅広い取組が評価された。 | 参道修復工事の様子 |
| 東京都 | Garage Sumida"中小製造企業の新たな価値を創出~ものづくりエコシステムの構築~" (株式会社 浜野製作所) | ものづくり総合支援施設(Garage Sumida)の運営を通じてベンチャー企業や研究機関等様々な業界・業種の製品開発等の活動を支援する取組。 墨田区というものづくりの基盤技術を持つ事業所が集積する地域において、優れたアイデアを持ちながらモノが作れない事業者に対し、自社を含む墨田区内の事業者をはじめとする幅広い製造ネットワークを活用して製品開発を支援している点が評価された。 若手技術者が企画から設計、量産等、最終的には事業化まで一貫して関わることで現代のものづくりに求められる力を養い、その育成に寄与している点が評価された。 | Garage Sumida |
| 東京都 | IID 世田谷ものづくり学校 (株式会社 ものづくり学校) | 廃校となった公立中学校舎を活用し、"ものづくり"事業者へのオフィス貸与や創業支援、地域コミュニティとの連携など、ものづくりに係る交流の場を提供する取組。 映像製作・編集、WEB、アパレル等のクリエイター・デザイナーが集まることで、アイデアの共有による仕事の受発注やコラボレーションを通して世田谷区の産業振興に資する点が評価された。 "ものづくり"に触れて学べるワークショップやセミナー、展示等を開催し、地域住民や企業、学生などだれもが訪れることができるものづくりに係る交流の場を形成し、地域振興に貢献していることが評価された。 | IID 世田谷ものづくり学校 |
| 岐阜県 | 工業高校生金型コンテスト (岐阜県金型工業組合) | 岐阜県内の工業高校生が、地域の企業や大学、公的機関から実技指導等の支援を受けながら、金型の設計から製品の製造までを行い、その成果を競う取組。 岐阜県の重要な産業である「金型製作」の技能を発展、継承するため、工業高校によるコンテストを通じて、企業や大学等が地域を挙げ、一丸となり支援をしながら実施している点が評価された。 約8ヶ月間という長期間にわたるコンテストを工業高校のカリキュラムの一部として組み込み、教育機関とも協働し、学校教育の一環として取り組んでいる点が評価された。 | プレゼンテーションの様子 |
| 山口県 | がナイジマ 柳井縞の普及活動と後継者育成 (柳井縞の会) | 大正初期以降「幻の織物」となっていた柳井縞を復興させ、織りの研究や技術習得のための研修を実施するとともに、小・中学校における機織体験等の授業を通して、その普及を図る取組。 江戸時代に柳井の特産品として全国に広まった木綿の「柳井縞」を、伝統的な手織り手染めにこだわりながらも、バッグやボーチ、小物入れに転用するなど現代的な感覚を織り込みながら普及に努めている点が評価された。 また、地域の高校生が、生徒自身が製作した機織り機を活用し、市内の小学校が開催する体験教室において、児童に機織りの指導を行うなど、地域資源を活用し伝統文化の理解促進に貢献している点も評価された。 | 柳井縞と機織り体験 |
| 沖縄県 | 沖縄県の伝統的漆喰琉球赤瓦屋根施工技法の習得・継承及び後継者の育成活動 (沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合) | 首里城等に代表される沖縄県独特の伝統的赤瓦建築文化財とその施工技法を残していくために、その修復をはじめ、沖縄県認定の琉球赤瓦施工技能評価試験を実施し後継者の育成等を図る取組。 伝統的な赤瓦屋根の景観を守るために、技能者が自ら危機感を持ち技能評価試験導入を働きかけ、さらには講習会等を併せて開催し後継者の育成に取り組んでいることが評価された。また、継続的に後継者を確保していくためには一般市民や若年者の理解が不可欠と考え、ものづくり体験教室や各種イベント等に積極的に出展するなど、地域振興にも貢献している点が評価された。 | 首里城での修復工事の様子 |